

## 銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

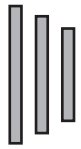
PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza.co.jp/ga-tpc>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています●

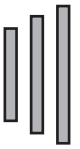
今年も残すところわずかとなりました。この1年、ご協力をありがとうございました。

銀座街づくり会議におきましては、今年、中央区との協議会を開始しました。現在、①屋上工作物について②

大規模開発について③デザイン協議会について、の3件について検討しています。来春にむけて、ルール化のための方針を決めていく予定です。どうぞ、ご意見をお寄せください。



## 第4回 中央区+銀座街づくり会議 協議会 ルール化の方針を検討する



### 屋上工作物の高さについて

中央区からは、屋上工作物の高さについて、工作物そのものの高さ制限ではなく、建物と合わせた全体の高さ制限を定めてはどうかという提案がありました。

銀座ルールでは通りごとの建物の高さ制限が決まっていますが、全体がそろっていればどんな大きな工作物でもいいのか、どの通りも同じ基準でいいのか、などの課題があります。また、最近増えてきている壁面広告の考え方も整理しておかなくてはなりません。



### 大規模開発について

また、大規模開発については現在、三越増床計画、歌舞伎座建て替え計画、6丁目再開発計画があります。三越と歌舞伎座については計画案が出ていますが、6丁目再開発についてはまだ出てきていません。

三越増床計画においては、2街区をつなげて新館を建てる。間の区道は三原通り側につけかえる(間の区道は私道となる)。建物の中にパサーージュ(建物貫通道路)をつくり、今までどおり、車も人も通れるようにするという案です。三原通り部分の地下には、荷捌き駐車場、地上へのエレベーター、銀座の駐輪・バイク置き場不足に対する公共貢献を考えています。また三越は、このような公共貢献を前提に、新館の容積率について、既存の建物並みの1300%程度を希望しています。

歌舞伎座建て替え計画は、もともとの歌舞伎座再現とともに、歌舞伎という文化を支えるための経済基盤として、超高層オフィスビルを同時に建築することを希望しています。

これらの案件はいずれも、従来の地区計画「銀座ルール」を超えるものであり、銀座街づくりの将来に関わる重要な決定を含んでいます。銀座の街として、じゅうぶんに議論を重ねなくてはなりません。



### 今後のスケジュール

中央区としては、来3月末までに新しい銀座ルールの方針を決定し、来年度より関係部局の調整にはいり、地区計画として定めていきたい所存です。また、夏頃から銀座デザイン協議会を立ち上げていきたいという考えです。以上は銀座の人たち皆で決めなくてはいけないことです。銀座街づくり会議では、出来る限りみなさんにこれらの課題を知っていただき、ご意見をいただきたいと思ひます。

銀座のシンボルともいえる銀座通りの将来像をどう考えるのか、東京国道事務所が事務局となる検討会が始まりました。今後の望ましい銀座通りの景観形成に向け、長期的な全体構想を踏まえ、その全体構想を実現するための道路景観デザインのあり方について検討し、銀座通りの景観形成ガイドラインをつくることを目的としています。銀座街づくり会議とも連携をとって、すすめられます。

第1回検討会は12月14日に開催されました。座長は倉田直道さん(工学院大学教授)。委員に、中野恒明さん(芝浦工業大学教授)・小林博人さん(慶應義塾大学助教授)・城戸真亜子さん(洋画家)をお迎えしています。

老朽化のすすむ街路灯については来春にコンペを実施し、ひろくアイデアとご意見を募集することになりました。銀座からは、街路灯という1パーツだけではなく、まちとしての長期的な展望とヴィジョンをまず議論することが大切である、との意見が強調されました。

銀座通り景観検討会、はじまる！